

サッカースタジアム等の整備状況について

1 要旨・目的

サッカースタジアム及び中央公園広場エリアの整備状況等を報告する。

2 現状・背景（経緯）

- ・令和3年3月31日 サッカースタジアムと広場エリア等の整備について、DB（デザインビルド）事業者を選定【代表者：大成建設】
- ・令和3年8月31日 広場エリアの賑わい施設整備・運営を担う民間事業者（P P F I）を選定【代表者：NTT都市開発】
- ・令和4年2月 1日 サッカースタジアムの工事着手
- ・令和5年3月14日 サッカースタジアムの指定管理者を選定【サンフレッチェ広島】
- ・令和5年6月12日 サッカースタジアムの命名権取得者を決定【エディオン】
呼称：EDION PEACE WING HIROSHIMA（エディオンピースウイング広島）

3 概要

（1）工事進捗状況

ア サッカースタジアム本体（DB事業）

- 屋根鉄骨工事が進められており、西側から屋根板を設置
- 今月初旬からスタンドの座席設置作業に着手
- ペDESTリアンデッキの桁架設工事を予定
南側：（城南通り側）7月31日（月）深夜
東側：（広島城側）8月1日（火）深夜



イ 広場エリア（P P F I事業）

- 令和5年8月の工事着手に向け、実施設計が完了
 - ・提案概要のコンセプト・ゾーニング・機能、集客目標（200万人）等に基づき「365日賑わう公園」の実現を目指す

※広島市が公表している施設設計概要については、別紙のとおり

（2）今後のスケジュール

- ・令和5年8月1日 広場エリア工事着工
- ・令和6年2月1日 サッカースタジアム供用開始
- ・令和6年8月 広場エリア供用開始

（3）予算（単県）

令和5年度当初予算 257,207千円（令和4年度2月補正予算 153,170千円を含む）

（4）今後の対応

「広域からの集客」や「県全体の活性化や中枢拠点性の向上」に繋がる施設となるよう、引き続き、広島市と連携していく。